

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 8年 3月 6日

公表：令和 8年 3月 31日

事業所名 アシストⅢ

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	5	0	できる限りの環境整備に配慮している。階段の手すりドアが引き戸に改修されているなど改善は見受けられるバリアフリーはまだ改善が必要である	2階という環境であるため、バリアフリー化は出来てはいないものの、床材をクッションフロアに変更する等環境整備は行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	0	照明の変更やドアをスライドにするなど過ごしやすい空間に改装を行なっている。	今後も利用者の方が過ごしやすい空間づくりに努めていきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	0	日々振り返りを行い、より良い支援へ繋がるようにしている。	支援者全員で振り返りなど今後も行っていききたいと思います。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	0	保護者の方からの評価にも目を通して改善策を考えている。	保護者の方の意見を真摯に受け止めて業務改善に繋げていきたい。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	0	日々の打ち合わせ等で伝えている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	0	6	0	今後検討を行なっていく。	法人と相談し、今後検討を行ってまいります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	0	内部、外部問わず研修を定期的実施し、支援力向上を目指している。毎月研修を行っている	今後も引き続き行っています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	0		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	0	保護者の方と懇談等を通じて一人ひとりにあった支援計画づくりに努めている。	保護者の方からの聞き取りに加え、支援者の視点も踏まえ計画作成に繋げていきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	0	組み合わせながら、本人の状況を把握するようにしている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	1		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	0	スタッフ間で意見を出し合い活動プログラムを立案している。	チームの意見を反映させていきながら今後もバラエティに富んだ活動内容を考えていきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	0	どの曜日を利用していただいても様々な活動に参加できるよう配慮を行なっている。	似たような内容にならないように意見を出し合いながら考えていきます。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 8年 3月 6日

公表：令和 8年 3月 31日

事業所名 アシストⅢ

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	0		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	0	日々必ず実施して、内容確認や流れなどを把握したうえで支援を実施している。	毎日職員間で活動内容や流れを確認して、事故などのないような環境づくりに努めています。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	0	毎日とはいかなくとも気になる点はその日のうちに共有、また次の日に再度振り返りを実施している。	小さなことでも日頃から振り返りや情報共有を行っていきたいと思います。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	0	業務日誌を日々記録として残して、反省やよかった点などを振り返り、次の支援に繋げるようにしている。	日々記録を行う中で、活動内容の振り返りや反省から、より良い支援へと繋げていきます。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	0	保護者の方から評価していただき次期計画へ繋げている。	保護者の方から評価を頂きながら、変更や継続など話し合いの上で計画作成を行っている。
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	3	0		
関係機関や保護者との連携	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	1		
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	1		
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	2		
	28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	0	2		
	29 地域の他質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	0	2		
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	5	0		
	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	1		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	0	戸外へ出た際に地域のお子さんと交流する場合はある。公園で近所の子と遊ぶこともある	近所の公園で地域の子と関わる程度であるため、来年度以降は町内会も含めたイベント開催を模索していきたい。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	0	5	1	日々の送迎時や連絡帳のやりとりに加えて、電話等でも連絡を取り合っている。	

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 8年 3月 6日

公表：令和 8年 3月 31日

事業所名 アシスト川

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明等	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	0		
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	0	契約時に管理者より説明を行なっている。	より分かりやすい説明を今後も心掛けていきます。
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	0	懇談を実施するなどして確認を行なっている。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	0		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	1		
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	0	定期的に保護者会を実施している。定期的に開催している	引き続き実施していきたいと思います。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	0	その都度迅速に対応を行っています。	相談を受けた際はできる限り迅速に対応していきます。
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	0	0	アシスト通信やホームページ等で情報発信を行なっている。	今後もホームページなどで積極的に情報発信をしていきたい。
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	0		
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	0		
非常時の対応	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	1	以前は町内会と共同のイベントを実施していたが、コロナ禍以降は感染予防等もあり実施できていない。コロナ禍以前は地域の方とイベントを開催していた	今年度はコロナ明けで事業所のみでイベントを開催した。来年度は地域の町内会も交えて行事を企画していきたい。
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	0		
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	0	様々な状況を想定した避難訓練を毎月行なっている。毎月避難訓練を行っている	地震や火事、大雨など様々な災害を想定して訓練を実施しています。
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	0		
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	1	スタッフへ周知して事故のないよう対応している。該当する方がいる日は支援内容に配慮している。事業所でおやつを提供する際には毎回原材料を確認していた	アレルギー等の情報共有を行った上でおやつ作りなどはその点を配慮して実施しています。
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	0		
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	0		
51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	0			

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 8年 3月 6日

公表：令和 8年 3月 31日

事業所名 アシストⅢ

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	0	虐待防止の研修等に参加している。	研修には全職員が参加出来るようにしている。その上で日々の支援に生かしています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	0	支援計画に明記している。	個別支援計画に記載すると共に、万が一身体拘束を行った場合には保護者へ説明を行っています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 8年 3月 31日

事業所名 アシストⅢ

保護者等数(児童数) 0名 回収数 0件 割合 0%

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	0	0	0	0		
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	0	0	0	0		
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	0	0	0	0		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	0	0	0	0		
適切な 支援の 提供	⑤ こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	0	0	0	0		
	⑥ 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	0	0	0	0		
	⑦ こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	0	0	0	0		
	⑧ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	0	0	0	0		
	⑨ 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	0	0	0	0		
	⑩ 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	0	0	0	0		
	⑪ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	0	0	0		
	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	0	0	0	0		
	⑬ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	0	0	0	0		
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	0	0	0		
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	0	0	0	0		
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	0	0	0	0		
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	0	0	0	0		

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	0	0		
	⑪ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	0	0	0	0		
	⑫ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	0	0	0	0		
	⑬ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	0	0	0	0		
	⑭ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	0	0	0	0		
非常時等の対応	⑮ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	0	0	0	0		
	⑯ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	0	0	0	0		
	⑰ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	0	0	0	0		
	⑱ 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際 の状況等について説明がされていると思いますか。	0	0	0	0		
満足度	⑲ こどもは安心感をもって通所していますか。	0	0	0	0		
	⑳ こどもは通所を楽しみにしていますか。	0	0	0	0		
	㉑ 事業所の支援に満足していますか。	0	0	0	0		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アシストⅢ		
○保護者評価実施期間	R 7年 4月 1日		～ R 8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	R 7年 4月 1日		～ R 8年 4月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R 8年 3月 6日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な集団活動を通して、ゲームや工作などを取り入れながら、手先の使い方や力加減、友だちとの関わり方などを楽しみながら学ぶことができる環境を整えている。また、自立課題を通して個々の課題や苦手なことに対して取り組む機会を設けている。	利用者が楽しみながら活動に参加できるよう、利用者の興味や好きなこと、提案などを活動に取り入れながら活動プログラムを工夫している。集団活動が楽しい時間となるよう配慮し、安心して参加できる環境づくりを行っている。	長期休暇中の校外学習や公園活動など、戸外活動や施設外での体験活動にも力を入れ、身体を動かす機会や様々な経験を積み重ねることができるよう取り組んでいく。
2	言語聴覚士を配置しており、発語や発声、構音訓練など専門的な視点を取り入れた支援を行うことができる体制が整っている。また、法人内には言語聴覚士や公認心理師も在籍しており、専門職へ相談できる環境がある。	困ったことや支援に悩むことがあった場合には専門職へ相談できる体制があり、利用者の様子を共有しながら支援方法を検討するなど、専門的な知識を取り入れた支援を行っている。	専門職による事業所内研修や助言を通して、職員を理解を深めながら支援の質の向上を図り、専門的知識を日々の支援に活かしていく。
3	法人内の事業所が同地域内にあり、未就学児・小学生・中学生と年齢別の事業所に分かれているため、年齢や発達段階に応じた支援を行いやすい体制となっている。同年代の子も同士の関わりを大切に支援が行える環境となっている。	年齢別の事業所であるため体格差による危険性が少なく、同年代の子も同士で自然な関わりを持ちながらコミュニケーションや社会性を学ぶことができる環境となっている。また、法人内の事業所と連携し、避難訓練や行事、合同活動などを通して交流の機会を設けている。	法人内の事業所との連携や交流機会を活用しながら、子どもたちが様々な人と関わる経験を通して社会性や多様性への理解を深めていける環境づくりを進めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢別の事業所体制であるため、年代の異なる利用者との交流機会が少なく、異年齢の関わりを通して学ぶ機会が限られている。また、地域の方や障害のない方との交流の機会も多くはなく、多様な人と関わる経験が十分とは言えない面がある。	法人内の事業所との合同活動やイベントを通して、他の年齢層の利用者と関わる機会を設けている。また、地域のイベントや外出活動を通して、様々な人と関わる経験を持てるよう活動内容を工夫している。	地域のイベントやボランティア活動などに積極的に参加し、様々な年齢層や背景を持つ人と出会う機会を増やしていく。また、世代間交流や地域交流を目的とした活動を取り入れ、自然な形で地域の方々と関わる機会を広げていく。
2	建物の設備が古い箇所があり、場所によっては階段の段差が高いなど、環境面において改善が望まれる部分がある。	利用者の安全確保を第一に考え、危険箇所の確認や職員による見守りを徹底している。また、設備の状況を定期的に確認し、必要に応じて部分的な修繕や改善を行いながら安全な環境づくりに努めている。	更新が必要な設備については計画的に更新を行い、安全で安心して過ごすことができる環境整備を進めていく。改修工事などが必要な場合は、利用者への影響を最小限にするため、年末年始やお盆などの長期休業期間を活用して実施していく。
3			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 8年 3月 6日

公表: 令和 8年 3月 31日

事業所名 アシストⅢ

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	5	0	階段ドアは引き戸になったので少しは安全になったドアが引き戸に改修されるなど改善はみられる適宜改修を行い、過ごしやすい環境を整えている。	2階という環境であるため、完全なバリアフリー化は出来てはいないものの、出来る限りの段差解消や手すり設置、引き戸への変更など工夫して環境整備は行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	0	昨年度改修工事で個室が出来た為、そこで過ごしている。	利用者の状況に応じて使用できるようにしています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	0	日々の振り返りを実施して、改善できることや反省など踏まえて次に生かすようにしている。	支援者全員で振り返りなど今後も行っていきたいと思っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	0	外部評価は行っていない現在は行っていないため、今後検討していく。	法人と相談し、今後検討を行っていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	0	内部、外部問わず定期的に行なっている。	今後も引き続き行っていきます。
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	0	保護者の方とは面談等を行い、支援計画に反映させるようにしている。	保護者の方からの聞き取りに加え、支援者の視点も踏まえ計画作成に繋げていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	0		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 8年 3月 6日

公表: 令和 8年 3月 31日

事業所名 アシストⅢ

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	0	活動を定める際に全員で話し合っているチーム全員で意見を出し合いながら、月単位で立案している。	チームの意見を反映させていながら今後も活動内容を考えていきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	0		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	0		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 8年 3月 6日

公表: 令和 8年 3月 31日

事業所名 アシストⅢ

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	0	全員が参加し、その日の動きや役割を確認している。	毎日職員間で活動内容や流れを確認して、事故などのないような環境づくりに努めています。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	0	打ち合わせは毎日行っているその日気になったことを共有したり、詳しくは翌日改めて行う等している。	小さなことでも日頃から振り返りや情報共有を行っていききたいと思います。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	0		
	23 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	0	保護者の方に評価していただいたり、意見をいただきながらその内容を反映するなどしている。	保護者の方から評価を頂きながら、変更や継続など話し合いの上で計画作成を行っています。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	6	0	0		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	0	子どもたちに考える時間を作る活動を取り入れている	子どもたちの様子を見ながら考えるを育てる支援を適宜行っていきます。
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	0	児発管が参加している。	召集の打診があれば積極的に参加をしていきます。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	1		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	0	児発管がその都度対応している。	保護者の方とは毎月下校時間を聞き、下校時刻等の確認を行っている。イレギュラーな対応などに関しては責任者が対応しています。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	1	法人内の事業所から引き継ぐ場合にも情報共有を行なっている。	連携の取れる体制を今後も行っていく。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	1		
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	1		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	1	近所の公園で地域の子と関わることがある。	近所の公園で地域の子と関わる程度である。来年度は町内会も含めたイベント開催を模索していきたいです。
	33 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	0	通所連絡会に加入して研修等参加している。	自立支援協議会には現状参加できていないが、通所連絡会というものには加入し研修等に参加している。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	0	送迎時、日々の連絡帳のやりとり等	引き続き送迎時や連絡帳など活用して状況を把握して共有していきたいと思っています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 8年 3月 6日

公表:令和 8年 3月 31日

事業所名 アシストⅢ

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	1		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	0	契約時に丁寧に説明を行なっている。	より分かりやすい説明を今後も心掛けていきます。
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	0		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 8年 3月 6日

公表:令和 8年 3月 31日

事業所名 アシストⅢ

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明等	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	0		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	0	懇談時だけでなく、その都度行なっている。	懇談時を中心に、それ以外でも相談があればその都度対応しています。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	0	1	保護者会を定期的を実施したりしている。	引き続き実施ができるようにしていきたいと思います。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	0	事実確認を行い、速やかに対応するようにしている。	万が一そういったことがあれば事実確認を行い、速やかに対応を協議して対応していきます。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	0		
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	0		
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	0		
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	0	以前は地域の町内会と連携してイベントを実施していたが、コロナ禍以降は再開できていない。	今年度は事業所のみでイベントを開催した。来年度は地域の町内会も交えて行事を企画していきたいと思います。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	0		
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	0		
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	0	契約時、懇談時に確認し対応方法を共有している	冷静に対応できるよう対応方法の確認とスタッフへの周知を引き続き行っていきます。
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	0	アレルギーのある利用者さんに事業所でおやつを提供する際には毎回原材料を確認していただいている保護者から聞き取り、情報共有して配慮、対応している。	アレルギー等の情報共有を行った上でおやつ作りなどはその点を配慮して実施しています。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	0		
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	0		
52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	0			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 8年 3月 6日

公表:令和 8年 3月 31日

事業所名 アシストⅢ

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	0	虐待防止に関する研修などにも参加している。	内部、外部問わず積極的に参加していきたいと 思います。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	0	計画に明記している。	個別支援計画に記載すると共に、万が一身体拘束を行った場合には保護者へ説明を行っています。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 8年 3月 31日

事業所名 アシストⅡ

保護者等数(児童数) 36名 回収数 21件 割合 58%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1	0	3		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	4	0	1	階段がある	出来る範囲で分かりやすい設備、環境に努めていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	0	1	1		
5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	2	0	1	若いスタッフに不安を感じる	スタッフの育成や指導を引き続き行ってまいります。	
6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1	0	4	はい。 あっています。 合っていると思う。 あっています。 支援プログラムをしらないです。 合っていると思います。 公表しているかわからない。 特に問題なし。 プログラムがよくわからない。 いろいろな体験支援をしていただき成長を感じる。 特に問題はありません。 合っていると思う。 おやつ作りなど楽しそうです。 合っていると思う。	支援プログラムと活動内容は、当社HPの掲載しております。	

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 8年 3月 31日

事業所名 アシストⅢ

保護者等数(児童数) 36名 回収数 21件 割合 58%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
適切な 支援の 提供	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	17	2	0	1	子どもの事をよく理解して作成されたものだと感じております。成長に合わせて設定されている。作成されています。もう少し分析していただきたい。作成されていると思います。モニタリングして家族のやってほしい等、活動の中に取り組まれていると思う。本人に合った支援計画だと思います。連絡等も頂いており、支援についての伝達した事のニーズに沿って支援してくれています。特性を理解していただき計画を立ててもらっている。定期的にプリントに計画を書いて提出をしている。まだ一度しか計画者を見てませんが、面談して頂き、細部まで書き込んでいただきました。されていると思う。	今後もお子さんのことを十分理解し、ニーズや強み等踏まえて支援計画を作成していきたいと思います。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	3	0	3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	2	0	1		
	10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	0	0	2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	5	1	10	利用日数が少ないので触れ合った覚えがない。	・地域の子どもたちとの交流は、公園に遊びに行った際に触れあう場合がありますが機会としては少なくなっております。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	2	0	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	2	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4	4	6		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	18	2	0	0		

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 8年 3月 31日

事業所名 アシストⅡ 保護者等数(児童数) 36名 回収数 21件 割合 58%

	チェック項目	ご意見				ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
保護者への説明等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	6	1	2	機会がありませんように感じます。あると思う。 定期的にはではない。 お願いをすれば、していただけると思いますが、こちらも訪問することが難しく、直接お話する機会が今のところは少ないかと思えます。 モニタリングで話して支援されている。 受給者証更新のタイミングで面談がありました。 利用日の出来事の報告はありますが、何か子供の気分等でスムーズにいかない時やちょっとしたトラブル等があった時に、どういった対応、支援をされたのかももう少し、教えて頂けたら助かります。 たまに面談したりする、相談すればその都度相談に乗ってくれる。 何かあったときは相談してます。 定期的に行われている。	定期的な面談に加え、その都度困ったことや相談事がありましたら、電話や面談等で一緒に解決方法を模索していきたいと思えます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	15	2	1	2		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	4	5	4		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2	0	2		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	16	2	1	1		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	2	0	4		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	17	1	0	2		
非常時	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	2	1	3		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1	0	1		

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 8年 3月 31日

事業所名 アシストⅢ

保護者等数(児童数) 36名 回収数 21件 割合 58%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
等 の 対 応	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1	0	5		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	2	0	5		
満 足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	18	2	0	0		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	1	0	1		
	29 事業所の支援に満足していますか。	16	3	1	0		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アシストⅢ		
○保護者評価実施期間	R 7年 4月 1日	～	R 8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 36	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	R 7年 4月 1日	～	R 8年 4月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R 8年 3月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な集団活動を通して、ゲームや工作などを取り入れながら、手先の使い方や力加減、友だちとの関わり方などを楽しみながら学ぶことができる環境を整えている。また、自立課題を通して個々の課題や苦手なことに対して取り組む機会を設けている。	利用者が楽しみながら活動に参加できるよう、利用者の興味や好きなこと、提案などを活動に取り入れながら活動プログラムを工夫している。集団活動が楽しい時間となるよう配慮し、安心して参加できる環境づくりを行っている。	長期休職中の校外学習や公園活動など、戸外活動や施設外での体験活動にも力を入れ、身体を動かす機会や様々な経験を積み重ねることができるよう取り組んでいく。
2	言語聴覚士を配置しており、発語や発声、構音訓練など専門的な視点を取り入れた支援を行うことができる体制が整っている。また、法人内には言語聴覚士や公認心理師も在籍しており、専門職へ相談できる環境がある。	困ったことや支援に悩むことがあった場合には専門職へ相談できる体制があり、利用者の様子を共有しながら支援方法を検討するなど、専門的な知識を取り入れた支援を行っている。	専門職による事業所内研修や助言を通して、職員の理解を深めながら支援の質の向上を図り、専門的知識を日々の支援に活かしていく。
3	法人内の事業所が同地域内にあり、未就学児・小学生・中学生と年齢別の事業所に分かれているため、年齢や発達段階に応じた支援を行いやすい体制となっている。同年代の子どもの関わりを大切に支援が行える環境となっている。	年齢別の事業所であるため体格差による危険性が少なく、同年代の子どもの関わりで自然な関わりを持ちながらコミュニケーションや社会性を学ぶことができる環境となっている。また、法人内の事業所と連携し、遊戯訓練や行事、合同活動などを通して交流の機会を設けている。	法人内の事業所との連携や交流機会を活用しながら、子どもたちが様々な人と関わる経験を通して社会性や多様性への理解を深めている環境づくりを進めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢別の事業所体制であるため、年代の異なる利用者との交流機会が少なく、異年齢の関わりを通して学ぶ機会が限られている。また、地域の方や障害のない方との交流の機会も多くはなく、多様な人と関わる経験が十分とは言えない面がある。	法人内の事業所との合同活動やイベントを通して、他の年齢層の利用者と関わる機会を設けている。また、地域のイベントや外出活動を通して、様々な人と関わる経験を持てるよう活動内容を工夫している。	地域のイベントやボランティア活動などに積極的に参加し、様々な年齢層や背景を持つ人と出会う機会を増やしていく。また、世代間交流や地域交流を目的とした活動を取り入れ、自然な形で地域の方々との関わる機会を広げていく。
2	建物の設備が古い箇所があり、場所によっては階段の段差が高いなど、環境面において改善が望まれる部分がある。	利用者の安全確保を第一に考え、危険箇所の確認や職員による見守りを徹底している。また、設備の状況を定期的に確認し、必要に応じて部分的な修繕や改善を行いながら安全な環境づくりに努めている。	更新が必要な設備については計画的に更新を行い、安全で安心して過ごすことができる環境整備を進めていく。改修工事などが必要な場合は、利用者への影響を最小限にするため、年末年始やお盆などの長期休業期間を活用して実施していく。
3			